

主題名 かけがえのない命のために

教材名 ある犬のおはなし

《ねらい》 内容項目【D 生命の尊さ】

生命ある全てのものをかけがえのないものとして、生命を大切にしようとする心情を育てる。

《ねらいとする道徳的価値》

個々の生命が互いに尊重し合い、つながりの中にあるすばらしさを考え、生命のかけがえのなさについて理解を深めるとともに、生死や生き方に関わる生命の尊厳など、生命に対する畏敬の念を育てることが大切である。また、様々な人々の精神的なつながりや支え合いの中で一人一人の生命が育まれ存在すること、生命が宿る神秘、祖先から祖父母、父母、そして自分、さらに、自分から子ども、孫へと受け継がれていく生命のつながりをより深く理解できるようにする。

《教材について》

ペットブームの中、飼いきれなくなった動物が保護所に持ち込まれ、安楽死させられている。保護活動も活発になり、年々数は減ってはいるが、飼い主の一方的な理由で命を落としている動物がいることに私たちは目をそらしてはいけない。児童にとってリアリティのある内容を扱い、自分事として捉えさせることで、道徳的実践力の高まりが期待できる。

《学習の流れ》

動物を飼った体験やほしいと思ったことがあるか聞く。

教材「ある犬のおはなし」を読み、話し合う。

- ぼくとの時間が減ってきたのはなぜでしょう。
- 飼い主はどうしてぼくを飼うのをやめたのでしょうか。
- ◎ どうして、ぼくは最後まで飼い主さんとの思い出を大切にしたのでしょうか。

ぜひ、ご家庭でもこの内容について話し合ってみてください。

絵本の作者が読み手に書いたメッセージをみんなに読み、振り返りをする。

ペットを飼う、命を授かるとはどういうことなのか、どういう責任があるのか、自分の考えをまとめる。